

<お知らせ>

平成17年2月24日

国立大学法人筑波大学
宇宙航空研究開発機構
KDDI株式会社

衛星を用いた e-ラーニングによる アジア大学間での双方向マルチメディア教育実験 特別授業の開催について

国立大学法人筑波大学では、アジア大学間での教育研究における交流を目指して、宇宙航空研究開発機構(JAXA)及びKDDI株式会社と共同で、衛星を用いた e-ラーニングによるアジア大学間での双方向マルチメディア教育実験を行っています。

本実験では、筑波大学、タイ・アジア工科大学及びマレーシア・マルチメディア大学を衛星回線で結んでパイロット実験としてのシステムを構築し、平成19年度の打ち上げが計画されている超高速インターネット衛星(WINDS)を想定した多地点間・双方向による正規の授業を行っています。パイロット実験を通じて、授業コンテンツの充実、WINDS実験に向けて技術的な課題の抽出、WINDS環境で最適なツールの整備を進めています。

JAXAは、e-Japan 重点計画に基づき世界最高水準の高度情報通信ネットワーク形成のための研究開発の一環として、WINDSの開発を、平成19年度打ち上げを目指して進めています。この打ち上げに先立ち、商用衛星を利用した実験を通じて、要素技術、実験環境や実験手法の事前確認を行うとともに、幅広い利用分野と実験参加者を開拓することで、WINDS打ち上げ後の確実な実験推進を図ることを目的としてパイロット実験を平成13年度より進めています。

筑波大学、JAXA 及びKDDI株式会社は、パイロット実験の一環として、「衛星を用いたアジア地域大学間でのe-ラーニング双方向マルチメディア教育実験」を平成14年度から実施しています。この実験を通じ、WINDS搭載交換機の特徴を活かした多地点同時接続型ネットワークの実験への応用と、教育機会の拡大、学習達成度と教育の質の保証、及び、国際舞台で活躍できる人材の育成を目指しています。

このたび、本実験のこれまでの成果報告を兼ねて、歩行を補助する装着型ロボットスーツ HAL(Hybrid Assistive Limb)の開発者である山海嘉之博士他による特別授業(別添1参照)を開催することになりましたのでお知らせいたします。なお、特別授業は筑波大学東京キャンパス(東京都文京区大塚)をメイン会場として行います。

特別授業終了後、記者説明会としてプロジェクト紹介(e-ラーニング実験、超高速インターネット衛星実験)と質疑応答を行う予定です。当日の現地取材及び特別授業終了後の記者説明会へのご出席を希望される方は、別添2の取材申込書にご記入の上、2月28日までに宇宙航空研究開発機構にFAX頂きますようお願いいたします。

詳細は別紙のとおりです。